（様式１）

平成　31　年　3 月　29 日

宮津市議会議長　　北仲　篤　　様

会 派 名　　無所属クラブ
代 表 者　　幹事長　久保　　浩

政務活動費 調査研究（視察）報告書

１　視察年月日　　平成 31 年２月 12 日（火）～２月 14 日（木）

２　視察先･項目　　①　滋賀県守山市役所「自転車によるまちづくり　ビワイチ・サイクルサポートステーション」

②　滋賀県長浜市役所「黒壁を中心としたまちづくり」

③　岐阜県高山市役所「インバウンド戦略」

３　参加者氏名　　星野和彦、久保　浩　　以上　２名

４　経　　費　　98,350 円（　49,175 円／１人あたり）

５　添 付 資 料　　視察研修行程表・資料（別添のとおり）

（様式２）

政務活動費 調査研究（視察）報告書

２月１２日（火） 滋賀県守山市 （面積： ５５ ｋ㎡、人口： 83,151 人）

視察項目 ・自転車によるまちづくり・ビワイチ・サイクルステーション

１ 視察目的・内容

目的：自転車によるまちづくりについて以下聞き、今後の宮津市における施策への提言等に活かすための視察研修とする。

内容：①自転車によるまちづくりの経緯

2015 年に策定の「守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱のひとつとして「自転車を基軸とした観光振興と受入体制の充実を」掲げた。（守山市の標高差が 22.4mとほぼ平坦な地形のメリットも自転車利用のカギ）

②当該事業に係る年間予算と経済効果

事業予算	28 年度	79,233 千円	自転車利用者	５万２千人
	29 年度	16,440 千円		７万５千人
	30 年度	14,990 千円		９万５千人

経済効果は市として明確に算出していないが、ピエリ守山、ラフォーレ琵琶湖のマリオットホテルへのリブランド化など数十億円の民間投資の呼び込みに成功。

③当該事業と行政と住民の関わり方

（１） 一定の条件のもと市民の自転車購入への補助制度の導入

（２） 健康増進、環境にやさしいまちづくり、観光振興、経済活性化等を実現することを目的とし、行政・市民・企業等で「びわ湖守山・自転車新文化推進協議会」を設立

④今後の展望と課題等

（１） 展望

ビワイチ・しまなみ・沖縄を西日本のゴールデンルートとして国内外への発信

（２）課題

安全・快適に走行できるための環境整備、案内表示の充実。

琵琶湖ならでは、滋賀県ならではの「おもてなし体制」の充実

⑤瀬戸内しまなみ海道を抱える愛媛県今治市と 2017 年に締結した「自転車を活用したまちづくりを目指す交流協定の効果、今後の見込み」

（1）交流協定の効果

市どうしの行き来、PR の相互協力、共同によるスタンプラリー実施

（2） 今後の見込み

沖縄、しまなみ、ビワイチの３大ルート連携による PR 活動の取組み実施、まもなく PR 動画が完成予定。

⑦他地域との交流協定の予定

現在、他地域との交流協定締結の具体的話はないが、沖縄県名護市、和歌山県和歌山市などと連携できればと考えている。

また、交流協定によらない連携のあり方も検討していく。

⑧冠大会の実績と予定

これまで、冠大会の実績はなく、今後も予定していない。

２　考察・検証・成果等

【久保　浩】

自転車によるまちづくりを成功へと導いたのは、宮本市長自身が大学時代に自転車部に所属していたというトップの関わり方が大きな力となっている。

市長自ら、H27 年 12 月に自費で世界的に有名な自転車メーカー　台湾の GIANT　へ突然の訪問をし、劉会長や経営幹部と意見交換、翌年 3 月に、守山市に「ジャイアントストア　びわ湖守山」をオープンへと導いた。

全国的に健康への関心が高まる中、宮津地域も通過する自転車を活用したイベントとして、「TANTAN ロングライド」が開催されているが、年間通じての自転車の活用には、安全対策も並行しつつ自転車道の更なる整備など課題も多い。

健康増進と温暖化への防止にも繋がる自転車の利用については市長はじめ市民全体の取組として考えていかねばならないと感じた。

また、守山市の例は、市長の熱意に民間企業・住民がバランス良く協力して発展し、成功に繋がっており、宮津市における「住民との共働」の更なる必要性を感じた。

【星野和彦】

近年、ロードバイクが盛況で、全国各地でイベントが開催され、丹後地域でも毎年「TANTAN ロングライド」に全国から健脚が集まる。

「自転車を活用した町おこし」については、都内の観光地を繋ぐ無料自転車拠点整備などと共に広島県尾道市と愛媛県今治市を繋ぐ「しまなみ海道」を自転車で走破するパッケージ企画が国内の先端をいっていると思料される。

この企画は、小生がサラリーマン時代に担当した地元の造船会社が中心となって行政と共に始めたもので、空き倉庫の活用や古いジーパンの販売等を含めた戦術として、従来の寺社仏閣見物中心の観光から新たな観光事業の戦略を打ち立てた。

そして、年々人気を博し、2018 年 7 月に公表された利用者は約 20 万人となっている。

今般視察した琵琶湖を自転車で一周する「ビワイチ・サイクルサポートステーション」は、上述の「しまなみ海道」を模範に事業を展開し、湖岸道路やモニュメント等も整備している。

また、しまなみ海道との提携や関東圏からのサイクルツーリズムの受け入れ、オリンピックに於ける自転車競技関連の対応もあって、自転車の活用を今後のまちづくりに反映する実情も感じた。

所謂「箱モノ」に頼る観光事業ではなく、長期滞在とリピーターを確保する視点から風光明媚な自然を有する宮津市と周辺地域が提携する「新たな観光事業」に発展する可能性を感じた。

（写真資料）　1　守山市　　ビワイチ　パンフレット

船+自転車で多彩なルートを

Ferry+Bicycle

びわこ一周サイクル ショートカットクルーズ船

運航ダイヤ　彦根港⇔竹生島⇔マキノ桂橋

	1便	2便	3便	4便
彦根港(発)	8:30	11:00	12:30	14:00
竹生島(着)	10:10	11:40	13:10	14:40
竹生島(発)	10:15	11:55	13:15	14:55
マキノ(着)	10:40	12:20	13:40	15:20
マキノ(発)	10:40	12:20	13:40	15:20
竹生島(着)	11:05	12:45	14:05	15:45
竹生島(発)	11:20	12:50	14:20	15:50
彦根港(着)	12:00	13:30	15:00	16:30

¥（1人様）
おとな 2600円(税込)
こども 1300円(税込) 自転車持込無料

2017年3月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)・18日(土)・19日(日)
4月21日～12月3日の土・日・祝、1都・2県ふみ運航（予約制）

オーミマリン彦根港支店
近江トラベル株式会社
滋賀県彦根市松原町3755
TEL 0749-22-0015
FAX 0749-24-7569
営業時間 9:00～17:00

大津サイクルクルーズ

2017年4月29日～5月2日・
5月8日～8月10日・8月16日～12月3日（予約制）

運航ダイヤ

琵琶湖汽船乗船クルーズ		1便(発)	2便(発)	3便(発)
大津港（琵琶湖ホテル）		10:50	12:50	14:30
にわの浜観光港（びわ湖大津プリンスホテル）	400円	11:10	13:10	14:50
堅田桟橋駅公園港（びわ湖大浦館）	100円	11:40	13:40	15:20
大津港（琵琶湖ホテル）	400円	11:50	13:50	15:30

¥ 鉄道　大津港→大津浜
大人 1980円　小人 990円
区間運賃（大人）
A区間 660円　B区間 940円　C区間 510円
＋自転車運賃約 510円
1受講大4分まで

琵琶湖汽船予約センター 9:00～17:00
TEL 077-524-8000　フリーダイヤル 0120-050-800

漁船タクシーでビワイチサイクリング

平成29年度は、夏から秋にかけて実施予定です。
詳しくお問い合わせください。

守山市地域創発・交通政策課
TEL 077-582-1165　FAX 077-582-0539
ホームページ http://www.city.moriyama.lg.jp
Eメール chiki@shinki.o@city.moriyama.lg.jp

自転車での“ビワイチ”は楽しみ方いろいろ！

日本最大の湖、琵琶湖は一周約200km。1～2泊かけてゆっくり巡るのもよし、本気で一周に挑戦するもよし。一周にこだわらず、日帰りで湖岸を走るだけでも気持ち良い。

家族・カップルでレクリエーション

湖岸はアップダウンが少なく走りやすい。レンタサイクルでは、子ども用自転車の設出もあり、家族でも楽しめる。

スポーツとしてのサイクリング

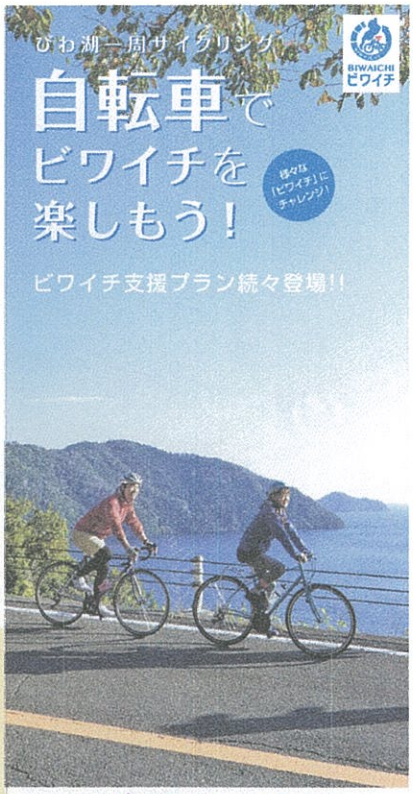
スポーツバイクで、湖岸を駆け抜けるのは格別！

あずたび
びわ湖一周自転車BOOK

自転車で巡る湖びわ湖観光ショップに立ち寄ったとき、本書を見せると特典が受けられます！

琵琶湖を爽快に楽しむ、びわ湖一周サイクリングのガイドブック決定版。釣り酒も楽しめるビワイチファミリーコースから、上級者向けのハイスピードコース、滋賀の魅力をより深く味わえる「街道めぐり」「地域の味わい」コースまで全21コースを紹介。

価格　1200円＋税
編集　鞍の国びわ湖推進協議会
発行　西日本出版社
A5版　128ページ
ISBN：978-4-908443-08-4
詳しくは「鞍の国びわ湖」でホームページをご覧ください



+Cycle 滋賀プラス・サイクル推進協議会
滋賀県 土木交通部 交通政策課内　〒520-8577　滋賀県大津市京町4-1-1
TEL 077-528-3684　FAX 077-528-4837　URL http://pluscycle.shiga.jp

豊富なサポートで安心・快適ビワイチ

ビワイチを応援するサポート活動

Support Plan

ビワイチサイクルサポートステーション

トイレや空気ポンプの貸し出しなどを行うサイクリストのおもてなし拠点

コンビニや道の駅、飲食店、ホテルなど県内全域約120ヶ所で運営。施設ごとに様々なサービスを提供し、ビワイチをサポートします。

こののぼりが目印！

基本サポート内容

サポートステーションの一例／浜大津船(大津市)

びわ湖サイクルレスキュー

びわ湖一周サイクリングを楽しむ方を対象にした出張修理サービス

レスキュー範囲
守山市・野洲市・東近江市・彦根市・米原市・長浜市

¥ 修理に掛かった費用(パーツ代＋工賃)
出張料金 5km以内 無料　5～10km 1080円　以降5km毎に 540円
※近江八幡市の有限会社ライフから現地までの実際の運賃実費

サイクルショップライフ
TEL 0748-28-0803　10:00～19:00 水曜休
〒523-0818　近江八幡市西庄町1808-1

協賛　鞍の国びわ湖推進協議会

県内のスポーツバイクレンタル拠点が充実！

Rental Bicycle 1

びわこ一周レンタサイクル

JR米原駅直結のサイクルステーション
憧れのロードバイクに乗れるチャンス!!

JR米原駅構内東口 1F（近江鉄道改札付近）
9:00～18:00　水曜休・冬季休業（12月中旬～2月中旬）
1日 3500円～（要事予約制）
※料金には、鍵、ライト、ヘルメットを含みます

STEP
1.WEBもしくはお電話にてご予約ください
2.ご利用時間の5分前までに店舗にお越しください
※キャンセルは2日前の17時までに必ずご連絡ください

途中返却プラン

県内に途中返却スポットを設置。
詳細はお問い合わせください。

¥ 途中返却料金 2500円／1台 要予約
※1日1台あたりの料金です。
※途中返却可能な車体は限定されており、事前予約が必要です
※ご利用は「びわこ一周レンタサイクル」出発の方限定

協賛協力
ヤマト運輸株式会社
滋賀主管支店

NPO法人 五環生活
TEL 090-3863-8453

さざめく湖面、移ろう四季、多彩な見どころが満載できるビワイチ。
ビギナーは1～2泊かけてのんびりするのがオススメ

Rental Bicycle 2

ジャイアントストアびわ湖守山

びわ湖畔に佇むスポーツバイク専門店で
充実のレンタル車体から自分に合う1台を！

守山市今浜町　総合リゾートホテルラフォーレ琵琶湖1F
9:00～18:00　火曜休
¥ 5時間 3000円～(税抜)　1日 4000円～(税抜)

STEP
1.お電話でご予約ください
2.ご利用の30分前までに店舗にお越しください
※キャンセルは前日の19時までにご連絡ください

ジャイアントストアびわ湖守山
TEL 077-584-2033

（様式２）

政務活動費 調査研究（視察）報告書

２月１３日（水）　　（面積：　６８０．７９ｋ㎡、人口：　118,498 人）

視察項目　・黒壁を中心としたまちづくり

１　視察目的・内容

目的：黒壁を中心としたまちづくりについて、以下聞き、今後の宮津市における施策への提言等に活かすための視察研修とする。

内容：①黒壁によるまちづくりのきっかけと現在までの経過

（１）　発端（きっかけ）は歴史的建造物（銀行→教会）の保存問題から昭和 40 年代からの郊外に立地する大型店舗の進出などにより中心市街地が衰退を始めていた。

この時期、まちの衰退と相まって、もともと黒壁様式の銀行が昭和 29 年に白く塗り教会へと変わっていたのだが、信者の減少で建物が売りに出されることになり、しかし、全国でも 3 例しかない、貴重な作りの建物であったため、市が 3 セクで保存の提案をした。

（２）第 3 セクターによる保存

出資金１億３０００万円（民間８社と市）

（３）３つのコンセプトによる経営

・歴史性（秀吉公　以来 400 年続く歴史あるまち）

・文化芸術性（誇れる文化芸術性にまで高める）

・国際性（世界に発信できる国際性をもたせる）

（４）事業の展開

大型店では真似ができず、地域の産業も圧迫しないこと、また先述 3 つの３つのコンセプトを満たすもの⇒ガラス細工

（初代の黒壁社長がよく海外へ行き、そのころヨーロッパでは、ガラス工芸が流行しており、そこからガラス細工へとつながっていった）　H 元年　7 月　黒壁オープン

H8 年には、大河ドラマ関連で「秀吉博覧会」が開催（黒壁発展期）

（５）「黒壁」から「NPO 法人まちづくり役場」への展開

H8 年の博覧会の運営委員長であり、黒壁の館長であった、笹原氏の提案で博覧会終了後の事業後継の拠点として「NPO 法人まちづくり役場」ができる。その後も住民、市により事業展開、H30 年には「黒壁三十年祭」を開催

②行政の関わり方と住民の　関わり方

㈱黒壁の発足は、民間企業８社が中心で行ってきた。

多くが関わると考えがまとめにくく、責任の所在がわからなくなり、誰も責任をとらなくなる。まちづくりは皆で考えるとうまくいかない。行政は、文化時保護の見地から教育費として 4000 万円計上。

③投資と経済効果（B／C）

市の黒壁への累積投資額は 4 億 7200 万円

H 元年～29 年までの累積経済効果は 5,296 億 2300 万円

④今後の展望と課題

（展望）

黒壁事業を通じ、住民・民間など参加者の意識の変革が醸成され雇用の創出、空き店舗の解消が今後も期待される。

（課題）

継続していくために、更なる官民の連携、関係機関等のコミュニケーション、人と人との繋がりをいかに持続していくか。

２　考察・検証・成果等

【久保　浩】

○　黒壁事業を進める上で、まちづくりを担う組織は民間のみとして、敢えて行政機関や商工会議所などを加えず、なおかつ、わずか８社という少数で立ち上げたことが、自由な発想で縛りのない、また、少数であるがゆえ、物事の進める決断にスピード感を持ち好機を逸せず展開できたことが重要と感じた。

本事業につき、行政は、文化財保護の観点から、4000 万円の教育予算をつけたが、まちづくりの主体を、民間に任せたことで、自由な発想が功を奏して大成功に至っている。

宮津市においても、まちづくりにおける民の関わりを更に大きくするしくみ等に力を入れていくべきと感じた。

○　黒壁事業に見てとれるように民間が主体の場合と行政が主体となる場合と比較すると概して民間主導の方が事業実施までの準備期間、コスト面で効果が高い場合が多い。

行政主体の場合、特に事業規模が大きくなればなるほど、計画から事業実施に至るまで、また事業開始後、終了に至るまでにも様々な法令等の規定による条件をクリアする事項の多くに相当な機関、手間を要しておりトータルコストとしての税金の使われ方としても課題が多く、民間主導による（いわゆるＰＦＩ）事業実施が益々必要と感じた。

【星野和彦】

「1 時間に人間 4 人、犬 1 匹から 200 万人集客の街に！」

このフレーズが長浜市黒壁スクエアの成功を物語る一言だ。

同事業の設立経緯等は上述の通りで、1988（昭和 63）年に第３セクターの株式会社 黒壁を設立した直後の日曜日に役員が発した言葉は「1 時間に人間 4 人、犬 1 匹しか通らない町」で、商店街の再生が本当にできるのだろうかと、全役員が不安を抱く現実からのスタートであったそうだ。

そして、黒壁ガラス館、ガラス工房、レストランの３館からスタートし、「作る・見せる・体験する」という複合的な事業展開と本物のガラス文化を追求する為に従業員を積極的に海外留学させるなどの人材育成が集客力に繋がった。

「街の再活性化はコンサルタントや大学の先生では出来ない。また大型店の集客に頼ることも無理だ。地元愛がないヨソ者に出来るはずがない。」

と言う言葉は、設立当初から本事業に携わり、2002（平成 14）年まで社長を務めた笹原司朗氏の言葉である。

当初は既存商店の人との軋轢もあったが、３年間毎日、朝夕に水撒きと挨拶を続けることで打ち解けたこと。

「建物全てを貸すが家賃を下げる」「礼金を店舗改修費に当て、所有者は負担なしで改修店舗を取得できる」という黒壁方式によるやる気があるテナント入居も実現していることも成功のカギであったと思料する。

長浜市　観光パンフレット

（様式２）

政務活動費 調査研究（視察）報告書

２月１４日（木）　　（面積：　2．177 ｋ㎡、人口：88,566 人）

視察項目　・インバウンド戦略

1　視察目的・内容

目的：　インバウンド戦略につき以下聞き、今後の宮津市における
施策への提言等に活かすための視察研修とする。

内容：①人口９倍以上もの外国人をどのようにして集客しているのか

海外に向けた施策を総合的に推進するため、H23 年に「海外戦略室」を設置している。

・情報発信の充実、受入れ体制の強化などインンバウンドの促進
・都市間交流の推進、異文化に接する機会の提供など多様な国際交流の推進
・外国人観光客への販売環境の充実など海外販路の開拓

②行政の関わり方と住民の関わり方

・飛騨地域三村一村での「地域通訳案内士」の養成講座実施
・災害、事件事故等の緊急時に外国人旅行者等を支援するため、通訳者等を確保（登録者 67 名）
・サポーターの情報を医療機関、警察・消防等の関係機関と共有することで、サポーター派遣の迅化を確保（登録者 30 名）

③年間における主なイベントとそれをどのように外国人にどのように周知しているのか

・日本政府観光局（JNTO）の海外事務所に外国語パンフレット設置
・海外旅行博への出展（カナダモントリオール国際旅行博、オーストラリア　トラベルエキスポなど）
・官民一体の取組みとして、
飛騨高山国際誘客協議会（H12 年設立）で海外旅行博覧会などへの出店、誘客キャンペーンの実施、実行代理店・メディア等の招へい

④今後の展望と課題

・　H21 年～の香港、パリへをはじめ、アメリカデンバー（h28～30）への職員の海外派遣を実施。

・インナーブランディングの推進として

〇歴史・伝統・文化・価値観・風習・生活様式などの違いが大きい海外の方々を迎え入れる

（展望）

『より多くの皆様に、何度も訪れていただける観光地』を目指す

（課題）

ニーズ、トレンドを把握し、時代の変化に即応する体制つくり

（そのために）民間事業者との更なる連携、広域的な更なる取組

２　考察・検証・成果等

【久保　浩】

〇早くから、海外へ職員を派遣するなど、「日本へ来てもらうためには、まず、先方をよく知る必要があり、そのための体制」がしっかり整っている。宮津市でもこうした観点を重視すべきである。

〇上述にも関連するが、高山市では、係長、管理職になるときの 2 回試験がある。管理職試験では英検 2 級の資格保持者であることが必須で、このことが、インバウンド戦略に効果を上げており、宮津市も一考に値する。

〇守山市においても、記述したが、高山市においても、インンバウンド戦略を市長自らトップセールスとして売り込み、その反応は絶大である。

海外現地を訪ずれる際、職員が挨拶するのと、市長自らするのでは、相手が「これは本気になっているな」と思わせるのであり、

宮津市も大変厳しい状況の今こそトップセールスを展開すべきである。

【星野和彦】

外国人旅行者の誘致は、平日の観光業を潤し、経済効果が高い。

岐阜県高山市は、海外業務部を設置し、主に「雪」を東南アジアへ発信して、成功を収めている。

2018（平成 30）年度の速報値は観光入込客数約 440 万人で、その内、外国人宿泊数は約 54 万人となっている。

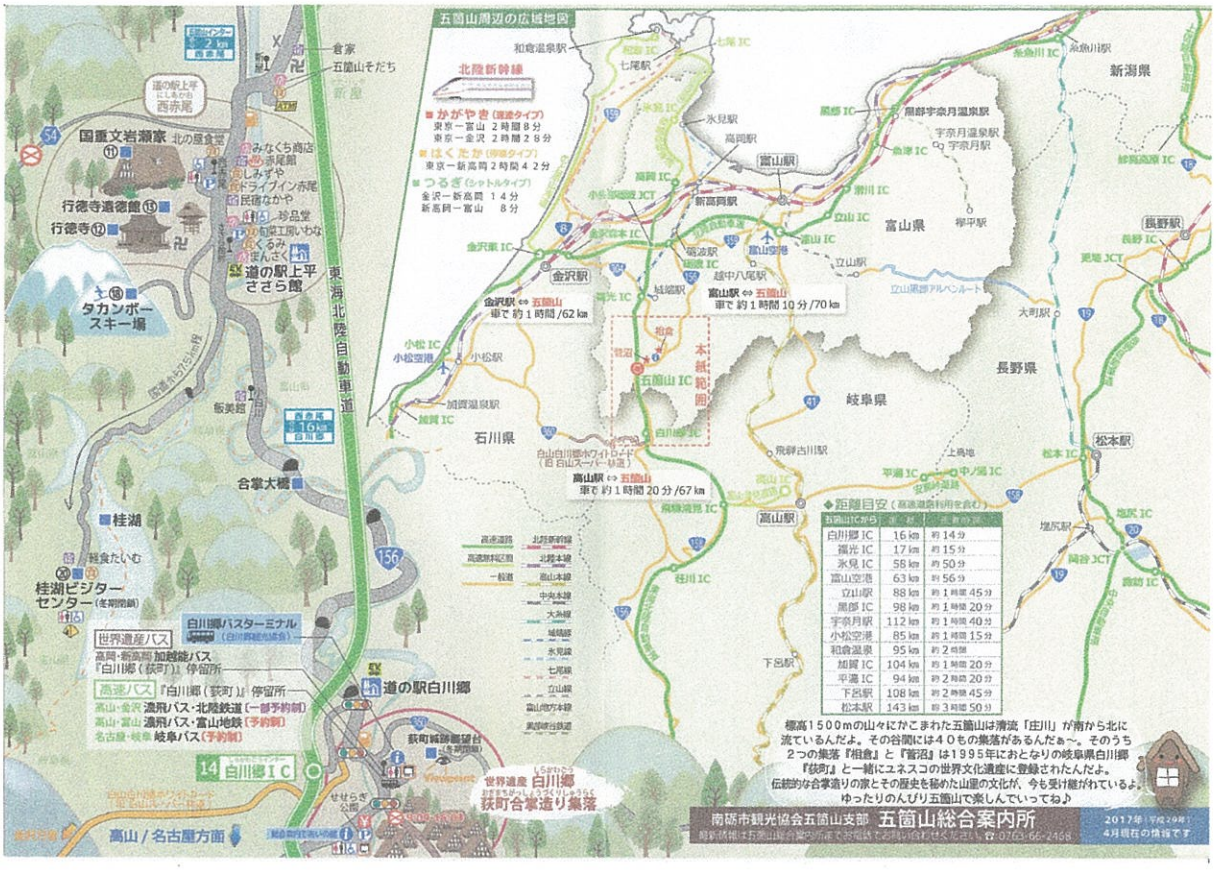
私が初めて高山市を訪れたのは、1982（昭和 57）年の宮津高校の修学旅行で、古い町並みが残っているなあといった程度の感想であったが、今回 37 年振りに訪問して、古い町並みが整備されていることに驚いた。

町中の案内板は様々な言語で表示され、観光マップは 10 カ国語で対応し、「外国人観光

客の受入マニュアル」や民間事業者が外国人向けのパンフレット作製や看板設置などの「補助金制度」や「無線 LAN」など「受入体制の整備」が徹底されている。

また、海外戦略部を設置して海外での PR 活動にも余念がない。

2015 年、インドネシアの首都ジャカルタの日本政府観光局（JNTO）の紹介で個人的に見学した中部広域観光推進協議会（東海・北陸・信州）が企画する『インドネシア「昇龍道」プロモーション事業』に於いて、高山市海外戦略部の活動は目覚ましく、「雪」と飛騨市や乗鞍登山などを活用した「周辺地域との観光連携」についても、今般、その仕組みを改めて伺うことが叶った。

その根底にあるのは、人口減少が続く高山市への危機感と、各国の個別ニーズを掴み、市民一人一人が外国人に対応できるか否かが成功の鍵となるのではないかと実感した。

高山　白川郷を案内したパンフレット